

平成28年第3回

中部知多衛生組合議会定例会

会 議 録

中部知多衛生組合









す。当組合の施設は、昭和 61 年に稼動して以来 30 年目を迎えておりまして、耐用年数を超過している設備・機器等が多く、施設全体の老朽化が進行している状況でございます。また、汲取り便槽の水洗化等による浄化槽の普及により、各施設の浄化槽汚泥搬入比率が当初と比べ非常に高くなっておりまして、し尿等の搬入性状が当初設計負荷と比較して希薄化しているため、施設運営の効率化が困難な状況となっております。このような課題を受けまして、継続的かつ、安定した処理機能の確保、循環型社会に資する処理システムへの転換を目指し、下水道放流方式として延命化するために、本年度は「し尿処理施設整備方針検討業務」を委託いたしました。その検討の結果、報告書におきまして施設整備手法につきましては、循環型社会形成推進交付金対象事業として「前処理・前脱水方式」とし、事業方式につきましては「DB+0方式」が適切であるとされました。また、施設の維持管理等におきましては、経年劣化により非常用バッテリーへの充電不足が生じていた、直流電源充電設備取替工事及び、昨年度に引き続き管理棟屋上防水工事等を行いまして、順調な運転を続けることができました。決算状況をみますと、歳出は 2 億 9 千 118 万 2 千 883 円で、前年度に比べ 1 千 479 万円余の減額となりました。これは、し尿処理費において、運転資材費及び設備等整備費が減額となったことによるものでございます。運転資材費におきまして、灯油、電気等の単価が当初見込みより低く安定したこと及び、収集量が減少したこと、設備等整備費におきましては、整備計画に沿って行った工事等が、前年度に比べ減少したことが主な要因でございます。なお、生し尿等の収集量は、公共下水道の面整備の進捗、接続人口の増加によりまして、し尿収集量は減少していくものと推測いたします。今後は、施設の効果的な運営を図るとともに、本年度実施いたしました「し尿処理施設整備方針検討業務」の検討結果を踏まえまして、下水道放流方式として改修整備工事することを進めてまいります。以上で主要施策の概要説明とさせていただきます。続きまして、決算の内容につきましてご説明を申し上げます。1・2 ページをお開きください。このページは、平成 27 年度中部知多衛生組合会計歳入歳出決算の総括表でございます。歳入決算額は、3 億 858 万 6 千 317 円で、歳出決算額は、2 億 9 千 118 万 2 千 883 円でございます。歳入歳出差引残額は、1 千 740 万 3 千 434 円で、全額を翌年度へ繰越すものでございます。歳入歳出の詳細につきましては、事項別明細書と施策の概要及び成果にてご説明申し上げます。恐れ入りますが、13・14 ページをお開きください。このページは、平成 27 年度の歳入歳出決算の事項別明細書でございます。初めに、歳入からご説明を申し上げます。1 款 1 項 1 目 1 節 分担金は、歳出予算から 2 款の繰越金と 3 款の諸収入を差し引いた額を、投入量により各市町で按分するもので、備考欄にございますように、半田市 1 億 717 万 5 千円、常滑市 1 億 2 千 505 万円、武豊町 5 千 985 万 4 千円、合計 2 億 9 千 207 万 9 千円を分担金として各市町から納入をして

いただいたものでございます。2款1項1目1節 繰越金は、備考欄にございますように前年度繰越金で、1千142万3千850円でございます。3款1項1目1節 雑入は、508万3千467円で、主なものは、備考欄の周辺整備事業費負担金の86万6千749円と、焼却灰処分費負担金の411万4千508円でございます。周辺整備事業費負担金は、長成公園の維持管理にかかった経費の総額の60%を当組合が、40%を常滑武豊衛生組合が、負担することとしており、平成27年度の周辺整備事業にかかった経費216万6千873円のうち、40%を常滑武豊衛生組合に負担していただいたものでございます。また、焼却灰処分費負担金は、焼却灰の処分を民間委託した、常滑市と武豊町の負担金でございます。その内訳は常滑市278万2千075円、武豊町133万2千433円でございます。表の一番下の段の歳入合計といたしまして、予算現額の計は、3億859万7千円で、調定額、収入済額はともに3億858万6千317円となるものでございます。続きまして、35・36ページをご覧ください。歳出につきましては、施策の概要及び成果にてご説明を申し上げます。1款1項1目 組合議会費は、目名の下段に記入してございますが、支出済額128万6千823円で、主なものとしまして、報酬及び行政視察調査費でございます。議会の開催状況等につきましては、記載の通りでございます。行政調査視察費は、右側に記入してございます、68万9千598円でございます。平成27年8月5日・6日に行政視察を実施し、記載の3か所を視察していただきました。2款1項1目 総務費の支出済額は4千497万5千366円で、主なものは、人件費3千436万9千1円で、特別職4人、派遣職員2人、職員5人を含む人件費でございます。続きまして、37・38ページをご覧ください。職員福利厚生費5万7千50円は、職員の健康診断等の経費でございます。庁舎等管理費578万7千276円は、庁舎の清掃、警備等に要した経費でございます。主なものは、樹木剪定、場内除草作業でございます。周辺整備事業費216万6千873円は、長成公園の維持管理等に要した経費でございます。主なものは、公園除草作業、公園遊具等撤去でございます。2款2項1目し尿処理費は、し尿処理に直接要する経費で、支出済額は2億4千492万694円でございます。処理状況については、収集量等、記載の通りでございます。続きまして、39・40ページをご覧ください。運転資材費は8千591万5千754円で、これは施設の運転に直接必要な資材等の経費でございます。運転資材等の使用量につきまして、薬剤、燃料等、電力、用水別に記載してございますが、し尿収集量の減少に伴い、全体的に減少傾向でございます。続きまして、設備等整備費9千807万7千896円は、機械設備などの整備等に要する経費で、その内訳は、1から6まででございます。1. 機械設備修理費は、1千177万4千203円で主なものは、2系自動微細目スクリーン軸受他取替修理始め7件でございます。2. 機器部品補充費は、353万6千705円で、主なものは、キルン受けローラー始め5件でございます。3. 機械設備定期点検費は、2千436万480

円で、主なものは、オゾン処理設備点検整備業務委託始め7件でございます。

4. 槽清掃費は、675万7千668円で、主なものは、受・貯留槽清掃等業務委託始め4件でございます。続きまして、41・42ページをご覧ください。5. 建築設備保全費は、1千188万円で、管理棟屋上防水工事及び2号井戸埋設工事を行いました。6. 機械設備整備費は、3千976万8千840円で、直流電源充電設備取替工事始め13件でございます。排水水等検査費310万6千80円は、排水水の汚濁物質、排出ガス及びダイオキシン類などの測定経費でございます。その測定結果等はいずれも公害防止計画値、保証値を下回っております。測定結果、内容につきましては、次に記載をしております。続きまして、43・44ページをご覧ください。焼却灰処分費411万4千508円は、焼却灰を民間にて処分する委託料と、その運搬経費でございます。常滑市分と武豊町分の120.82tを処分いたしました。なお、半田市分は半田市で自主処分いたしました。施設運転管理費4千276万8千円は、平成19年度から施設の運転管理業務等を一部民間に委託したもので、派遣社員6人分にかかる委託料でございます。平成25年度からは3年間の長期継続契約に変更し、最終年に当たります。整備方針検討業務費961万2千円は、先ほどもご説明し、繰返しになりますが、当組合施設を継続的かつ、安定した処理機能の確保を目指し、下水道放流方式として改修整備工事することとして、今後の施設整備方針を明らかにするため「し尿処理施設整備方針検討業務」を委託したものでございます。恐れ入りますが、19・20ページにお戻りください。3款公債費及び4款予備費は、ともに支出がございませんでした。表の一番下の段の歳出合計でございますが、予算現額の計は3億859万7千円で、支出済額は2億9千118万2千883円、不用額は1千741万4千117円となるものでございます。続きまして、8ページをご覧ください。これは、平成27年度の決算審査の意見書でございます。去る8月10日、監査委員さんのご審査をいただき、意見書をいただいておりますので、その写しを添付させていただきました。以上で、認定案第1号平成27年度中部知多衛生組合会計歳入歳出決算認定についての提案理由の説明とさせていただきます。よろしくご審議のうえ、ご認定賜りますようお願いを申し上げます。

議長（相羽助宣） 説明は終わりました。これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（相羽助宣） 質疑を終結いたします。これより討論に入ります。討論はありませんか。



地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

平成28年12月26日

議 長 相 羽 助 宣

議 員 澤 田 勝

議 員 杉 江 繁 樹